

福岡県保健医療介護部
がん感染症疾病対策課感染症対策係
長田、中村
内線 3079・3080
直通 092-643-3268

麻しん患者の発生について（続報）

平成30年5月2日にお知らせした、筑紫保健福祉環境事務所管内で発生した麻しん患者について、詳細が判明しましたので、お知らせします。（下線部が追加情報です）

1 患者

（1）年齢等

20歳代、男性、春日市在住

（2）経過

4月27日 発熱、咳、咽頭痛が出現

4月28日 春日市内の医療機関Aを受診

午前9時頃 春日市内の小売店Bを利用

4月29日 下痢が出現

午前5時頃 春日市内の小売店Cを利用

午後6時～午後10時頃 春日市内の小売店Dを利用

5月 1日 発疹が出現 春日市内の医療機関Eを受診

5月 2日 医療機関Aを受診、医療機関Eを紹介受診

臨床症状から麻しんと診断、入院、発生届

県保健環境研究所の遺伝子検査で麻しん陽性

2 患者の行動歴について

感染したと考えられる期間に、沖縄県、愛知県などの訪問歴や海外渡航歴はありません。

平成30年第15週（4月9日～15日）に福岡県内で発生した麻しん患者との接触歴はありません。

3 行政対応

筑紫保健福祉環境事務所が患者、家族、小売店及び医療機関に対し健康調査、疫学調査を実施し、まん延防止のための指導を行っています。

《県民の皆様へ》

- 症状（別紙参照）から麻しんが疑われる場合、事前に医療機関へ電話連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際には、感染を拡大させないように公共交通機関等の利用は控えてください。
- 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。現時点で患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

お 願 い

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないように、格段の御配慮をお願いします。